

平成 29 年度事業計画書

公益財団法人日本極地研究振興会

はじめに

当財団は、1964 年 12 月の創立以来、50 年余にわたって南極・北極地域での研究・教育活動を支援し、それらの活動から得られる成果を社会に普及し、青少年教育に役立てるための様々な取り組みを行ってきた。2013 年 4 月の公益財団法人への移行を機に、広報活動を強化し、南極・北極に関する最新の情報を社会に提供する努力を続けている。特に近年、南極・北極地域は地球温暖化の影響が最も敏感に現れている地域として社会の関心が急速に高まっていることから、この地域の自然と環境・生態系の変化を知ってもらう普及活動に力を入れている。平成 29 年度は以下の基本方針に基づいて、極地で活動する研究者・教育者への助成事業、極地研究成果の社会への普及啓発活動と青少年教育への活用を推進する。

《基本方針》

1. 極地研究者・教育者への助成事業の推進

南極・北極域で活躍する研究者と教育者を支援するために、極地に関する国際交流及び現地調査等への助成と極地の自然・観測情報等を活用する教育者への助成を行う。

2. 南極・北極域研究成果の普及啓発活動の推進

財団が刊行する南極と北極の総合誌「極地」や南極・北極地図の普及に加え、極域関連企業の支援を得て、わかりやすいパンフレット・テキストを作成し、それを用いた普及啓発活動を推進する。

3. 広報活動の強化

ホームページ、メールマガジン、FB ページの掲載内容を豊富にし、財団の情報発信能力を高める。

4. 会員増加キャンペーンの推進

会員数の倍増を目指し、現会員に入会希望者の紹介をお願いするとともに講演会等で入会の呼びかけを行う。

5. 寄付金募集事業の推進

財団の財政基盤を強化するために、法人および個人からの寄付金を大幅に増やす戦略を立て、実行する。

6. 管理運営体制の強化

会計処理、会員管理、事業実施体制を強化し、公益事業と収益事業の一層の発展を図る。

1. 公益目的事業 1

公益目的事業 1 「極地科学の分野における学術文化の向上発展に寄与するため、研究、教育活動の助成と研究教育成果の普及を図る事業」は、以下の 3 事業からなる。

- (1) 極地研究に関する国際交流及び現地調査等への助成
- (2) 極地の自然、観測情報等を活用する教育者等への助成、
- (3) 極地観測事業その他の極地研究成果等の普及

1-1. 極地研究に関する国際交流及び現地調査等への助成

南極・北極域で研究・観測・調査活動を行う研究者への助成、それらの研究活動から得られた成果を発表するための国際シンポジウム等への参加費の助成を行う。若手研究者や大学院生を主な対象とする。ホームページで公募し、財団の助成選考委員会で審査し、理事会で決定する。

1-2. 極地の自然、観測情報等を活用する教育者等への助成

国立極地研究所と財団が共催で実施する「教員南極派遣プログラム」の応募者の選考に委員として加わるとともに、選考された教員の派遣費用の一部を助成する。また南極・北極域の自然情報や観測情報を活用する教育者をホームページで公募し、財団の助成選考委員会で審査し、理事会で決定する。

1-3. 極地観測事業その他の極地研究成果等の普及

(1) 会誌「極地」の刊行

平成 28 年度に会誌「極地」を一般向け「南極と北極の総合誌『極地』』として全面的にリニューアルした。平成 29 年度も極地の自然と環境・生態系、極域で展開される研究・教育活動、経済活動、国際関係、生活、観光、冒険・探検、歴史など幅広い情報を掲載し、年 2 回 (3 月、9 月) 刊行する。毎号、社会的関心が高いテーマを取り上げる「特集」を企画する。

(2) 南極半島地図の刊行

平成 28 年度に南極研究科学委員会 (SCAR) の最新南極デジタルデータベースを用いた「新南極大陸地図」を刊行したが、その際に収集したデータを活用し、南極観光の中心である南極半島の地形図を作成し刊行する。

(3) 南極カレンダーの刊行

南極地域観測事業から得られた成果を普及するための事業の一環として、南極探検・観測の長い歴史の中の特筆すべき出来事を、その起こった月日に記載した「南極カレンダー2018年版」を制作し刊行する。

(4) ホームページとメールマガジンによる広報活動

ホームページの充実を図り、極地に関する様々なニュースを提供する。FB

(フェイスブック) ページでは、南極・北極関連のイベント情報や南極観測隊から提供された写真を掲載し、極地への関心を高める努力をする。メールマガジンを季刊(年4回)で発行する。南極・北極に関する最新の研究成果、南極観測隊員の活躍、南極観測を支援する企業の活動、南極・北極観光、南極・北極にチャレンジする冒険家・ジャーナリストの話題などの幅広い話題を社会に紹介する。南極と北極の総合誌「極地」のバックナンバーをホームページで公開する。

(5) 極地関連企業と連携した普及啓発活動の推進

極地関連企業の支援を得て極地の自然、環境・生態系、最新の研究成果、南極地域観測隊の活動等をわかりやすく紹介するパンフレットやテキストを作成し、各種の講演会・セミナーで活用する。また極地関連企業と講演会・セミナーの共催を企画し、講師を派遣する。

2. 収益事業

2-1. 国立極地研究所の南極・北極科学館売店の管理運営(収益事業1)

国立極地研究所の南極・北極科学館において、売店(ミュージアムショップ)の管理運営業務を行う。南極・北極ポストカード、南極カレンダー、南極・北極地図、南極と北極の総合誌「極地」、南極・北極関連の書籍とグッズを販売する。また南極地域観測隊関連の記念品を企画し、業者への記念品制作・販売の委託等の業務を行う。

2-2. 技術指導等(収益事業2)

極地観測事業を通じて開発取得した著作権及びノウハウによる資料貸出、技術指導を、極地観測事業に関連した企業等からの依頼を受け、例年通り行う。

3. 管理部門

(1) 管理運営体制の強化

前年度に、公益法人支援業務を主とする会計士事務所と契約し、決算書や税務書類の作成・代理業務を委託した結果、会計業務は大幅に改善した。本年度は財団の運営に必要な諸規則(会計規定、助成事業実施規則、理事会・評議員会運営規則)を整備し、財団運営体制を強化する。

(2) 会員増加キャンペーンの推進

現在の会員数は維持会員と賛助会員を合わせて約500名である。財団を活性化するためには新規会員の入会促進が必須であるので、現会員の協力を得て会員数の倍増を目指すキャンペーンを推進する。

(3) 寄付事業の推進

財団は国・地方公共団体からの補助金収入がなく、自律的な収入源だけで公益目的事業を運営している。しかし公益財団法人移行後、公益目的事業の経常収益額は公益目的事業費を大幅に下回っており、赤字体質の改善が急務となっている。そこで本年度は公益目的事業の収入源の柱である寄付金収入の倍増を目指す。従来の使途目的を定めない一般寄付金に加え、使途目的と募集期間を定めた特別寄付金として、「南極・北極から地球環境を考えるネットワーク事業」への寄付を募集する。さらに、賛助会費は財団への寄付金として扱われるので、新規賛助会員の獲得に全力を尽くす。

平成29年度収支予算書(正味財産増減予算書)

平成29年4月1日～平成30年3月31日

公益財団法人 日本極地研究振興会

(単位:円)

科目	当年度予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	130,000	130,000	0
基本財産受取利息	130,000	130,000	0
②受取会費	3,500,000	2,590,000	910,000
維持会員受取会費	1,900,000	1,900,000	0
賛助会員受取会費	1,600,000	690,000	910,000
③事業収益	22,600,000	23,109,000	△ 509,000
会誌「極地」売上収益	200,000	9,000	191,000
地図製作頒布収益	1,000,000	1,000,000	0
カレンダー製作頒布収益	8,000,000	8,000,000	0
南極・北極科学館売上収入	2,500,000	1,300,000	1,200,000
記念品売上収益	8,000,000	10,000,000	△ 2,000,000
資料貸出収益	2,800,000	2,800,000	0
受託販売収入	100,000	0	100,000
④受取寄付金	7,000,000	3,000,000	4,000,000
受取寄付金	7,000,000	3,000,000	4,000,000
⑤雑収益	500,000	100,000	400,000
広告料収入	500,000	100,000	400,000
受取利息	0	0	0
経常収益計	33,730,000	28,929,000	4,801,000
(2) 経常費用			
①事業費	30,900,000	31,616,000	△ 716,000
助成金	2,750,000	2,237,000	513,000
極地研究活動助成金	1,000,000		
極地教育活動助成金	1,600,000		
助成関係費	150,000		
講演会・セミナー等開催費	200,000	0	200,000
普及啓発活動関係費	300,000	214,000	86,000
印刷製本費	8,450,000	8,440,000	10,000
会誌「極地」制作費	2,200,000		
南極カレンダー制作費	5,750,000		
地図制作費	400,000		
広報用資料制作費	100,000		
南極・北極科学館売店関係費	1,940,000	1,170,000	770,000
南極・北極科学館売上原価	1,750,000	980,000	770,000
売店賃借料	190,000	190,000	0
記念品制作費	6,400,000	9,400,000	△ 3,000,000
運営費	10,860,000	10,155,000	705,000
役員報酬	1,800,000	2,112,000	△ 312,000
給与手当	4,000,000	3,982,000	18,000
福利厚生費	780,000	1,014,000	△ 234,000
情報公開費	200,000	0	200,000
旅費交通費	150,000	0	150,000
賃借料	1,240,000	1,231,000	9,000
光熱水料費	120,000	100,000	20,000
通信運搬費	280,000	348,000	△ 68,000
消耗什器備品費	120,000	480,000	△ 360,000
消耗品費	130,000	92,000	38,000
租税公課	780,000	580,000	200,000
支払い手数料	180,000	180,000	0

リース料	520,000	0	520,000
減価償却費	110,000	0	110,000
支払報酬料	400,000	0	400,000
雑費	50,000	36,000	14,000
②管理費	2,750,000	1,821,000	929,000
役員報酬	600,000	528,000	72,000
給与手当	1,000,000	159,000	841,000
福利厚生費	220,000	52,000	168,000
旅費交通費	100,000	0	100,000
賃借料	310,000	953,000	△ 643,000
光熱水料費	30,000	10,000	20,000
会議費	60,000	62,000	△ 2,000
通信運搬費	70,000	3,000	67,000
消耗什器備品費	30,000	20,000	10,000
消耗品費	30,000	8,000	22,000
租税公課	0	0	0
支払い手数料	20,000	20,000	0
リース料	130,000	0	130,000
減価償却費	20,000	0	20,000
支払報酬料	100,000	0	100,000
雑費	30,000	6,000	24,000
経常費用計	33,650,000	33,437,000	213,000
評価損益等調整前当期経常増減額	80,000	-4,508,000	4,588,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	80,000	-4,508,000	4,588,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計			
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	80,000	-4508000	4,588,000
一般正味財産期首残高	3,910,000	11,636,000	△ 7,726,000
一般正味財産期末残高	3,990,000	7,128,000	△ 3,138,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	15,000,000	15,000,000	0
指定正味財産期末残高	15,000,000	15,000,000	0
III 指定正味財産増減の部	18,990,000	22,128,000	△ 3,138,000

平成29年度収支予算書内訳表(正味財産増減予算書)

平成29年4月1日～平成30年3月31日

公益財団法人 日本極地研究振興会

(単位:円)

科目	公益目的会計	収益事業等会計				法人会計	内部取引消去	平成29年度 予算	平成28年度 予算
		収益事業1	収益事業2	収益共通	小計				
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
①基本財産運用益	130,000	0	0	0	0	0	130,000	130,000	
基本財産受取利息	130,000						130,000	130,000	
②受取会費	2,150,000					1,350,000	3,500,000	2,590,000	
維持会員受取会費	950,000					950,000	1,900,000	1,900,000	
賛助会員受取会費	1,200,000					400,000	1,600,000	690,000	
③事業収益	9,200,000	10,600,000	2,800,000	0	13,400,000	0	22,600,000	23,109,000	
会誌「極地」売上収益	200,000						200,000	9,000	
地図製作頒布収益	1,000,000						1,000,000	1,000,000	
カレンダー製作頒布収益	8,000,000						8,000,000	8,000,000	
南極・北極科学館売上収入		2,500,000			2,500,000		2,500,000	1,300,000	
記念品売上収益		8,000,000			8,000,000		8,000,000	10,000,000	
資料貸出収益			2,800,000		2,800,000		2,800,000	2,800,000	
委託販売収入		100,000			100,000		100,000	0	
④受取寄付金	6,000,000					1,000,000	7,000,000	3,000,000	
受取寄付金	6,000,000					1,000,000	7,000,000	3,000,000	
⑤雑収益	500,000		0	0	0	0	500,000	100,000	
広告料収入	500,000						500,000	100,000	
受取利息	0				0		0	0	
経常収益計	17,980,000	10,600,000	2,800,000	0	13,400,000	2,350,000	33,730,000	28,929,000	
(2) 経常費用									
①事業費	19,690,000	11,010,000	200,000	0	11,210,000		30,900,000	31,616,000	
助成金	2,750,000						2,750,000	2,237,000	
極地研究活動助成金	1,000,000						1,000,000		
極地教育活動助成金	1,600,000						1,600,000		
助成関係費	150,000						150,000		
講演会・セミナー等開催費	200,000						200,000		
普及啓発活動関係費	300,000						300,000	214,000	
印刷製本費	8,450,000						8,450,000	8,440,000	
会誌「極地」制作費	2,200,000						2,200,000		
南極カレンダー制作費	5,750,000						5,750,000		
地図制作費	400,000						400,000		
広報用資料制作費	100,000						100,000		
南極・北極科学館売店関係費		1,940,000			1,940,000		1,940,000		
南極・北極科学館売上原価		1,750,000			1,750,000		1,750,000	980,000	
売店賃借料		190,000			190,000		190,000	190,000	
記念品制作費		6,400,000			6,400,000		6,400,000	9,400,000	
運営費	7,990,000	2,670,000	200,000		2,870,000		10,860,000		
役員報酬	1,800,000						1,800,000	2,112,000	
給与手当	2,000,000	2,000,000			2,000,000		4,000,000	3,982,000	
福利厚生費	540,000	240,000			240,000		780,000	1,014,000	
情報公開費	200,000						200,000	0	
旅費交通費	150,000						150,000	0	
賃借料	1,240,000						1,240,000	1,231,000	
光熱水料費	120,000						120,000	100,000	
通信運搬費	280,000						280,000	348,000	
消耗什器備品費	120,000						120,000	480,000	
消耗品費	110,000	20,000			20,000		130,000	92,000	
租税公課	200,000	380,000	200,000		580,000		780,000	580,000	
支払い手数料	180,000						180,000	180,000	
リース料	520,000						520,000		
減価償却費	80,000	30,000			30,000		110,000		
支払報酬料	400,000						400,000	0	
雑費	50,000						50,000	36,000	
②管理費						2,750,000	2,750,000	1,821,000	
役員報酬						600,000	600,000	528,000	
給与手当						1,000,000	1,000,000	159,000	
福利厚生費						220,000	220,000	52,000	
旅費交通費						100,000	100,000	0	
賃借料						310,000	310,000	953,000	
光熱水料費						30,000	30,000	10,000	
会議費						60,000	60,000	62,000	
通信運搬費						70,000	70,000	3,000	
消耗什器備品費						30,000	30,000	20,000	
消耗品費						30,000	30,000	8,000	
租税公課						0	0	0	
支払い手数料						20,000	20,000	20,000	
リース料						130,000	130,000	0	
減価償却費						20,000	20,000	0	
支払報酬料						100,000	100,000	0	
雑費						30,000	30,000	6,000	
経常費用計	19,690,000	11,010,000	200,000	0	11,210,000	2,750,000	33,650,000	33,437,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	-1,710,000	-410,000	2,600,000		2,190,000	-400,000	80,000	-4,508,000	
評価損益等計							0	0	
当期経常増減額							80,000	-4,508,000	
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益							0	0	
経常外収益計							0	0	
(2) 経常外費用							0	0	
経常外費用計							0	0	
当期経常外増減額							0	0	
当期一般正味財産増減額							80,000	-4,508,000	
一般正味財産期首残高							3,910,000	11,636,000	
一般正味財産期末残高							3,990,000	7,128,000	
II 指定正味財産増減の部									
当期指定正味財産増減額							0	0	
指定正味財産期首残高							15,000,000	15,000,000	
指定正味財産期末残高							15,000,000	15,000,000	
III 指定正味財産増減の部							18,990,000	22,128,000	